

科目名	教科書名	副教材名
中学1年 英語 (AF)	NEW HORIZON English Course 1	・ENGLISH DISCOVER I ・中学版システム英単語 ・徹底反復シリーズ 5-Stage 英文法完成 BOOK1

1. 授業のねらい

- ・ 英語を通じて、思考力、判断力、表現力を高める。
- ・ 聞く、話す(発表)、話す(やり取り)、読む、書く、の4技能5領域で英語力を向上させる。
- ・ 音声、語彙(単語や熟語など)、表現、文法などを理解し、興味から生まれる課題を探究し、運用する力を身につける。
- ・ 英語を通じてコミュニケーションを取り、自分の伝えたいことを表現し、相手の意図をくみ取ることができるようにする。
- ・ 背景にある文化に対する理解を深め、多様な価値観を知ることにより、多角的なものの見方を養う。

2. 授業のすすめ方

< 英語 >

- ・ 基本的に英語で授業を進行するので、よく聞き、内容理解に努める。
- ・ 教科書および副教材等を通じて、聞く、話す(発表)、話す(やり取り)、読む、書く、の4技能5領域の技能を向上させるトレーニングを行う。
- ・ 課題点に対して、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、などを行い、思考力、判断力、表現力を向上させる。
- ・ 教材に出てくる新しい語彙、表現、文法を使い、コミュニケーション力を高める。
- ・ 教科書の内容を通じて、異文化理解を深める。
- ・ 5-Stage 英文法完成 BOOK1・ENGLISH DISCOVER で英語運用力の定着を図り、応用力を養う。
- ・ 授業や家庭学習でシステム英単語を用い、語彙力を向上させる。(小テスト実施)。
- ・ 授業内外でスタディサプリおよびスタディサプリ English を用い、理解を深め、常に英語力の向上に努める。

< 英会話 >

- ・ 通常のクラスを3グループに分け、ネイティブスピーカーと日本人の教員のティームティーチング形式で行う。
- ・ 発話の機会を増やし、英語力とコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・ プレゼンテーションの機会を通じて、発表力、表現力を伸ばす。

3. 学習上の留意点

- ・ 授業へ参加する前に単語を調べるなど、予習に取り組む。
- ・ お互いを尊重し、積極的にコミュニケーションを取る。
- ・ プリント類、テスト類は各自ファイルに保管する。
- ・ 課題には真剣に取り組む、期限までに提出をする。
- ・ 定期考査、小テスト、実力テスト、英検には十分な準備をして臨む。
- ・ 英検を受験し、全員が4級以上の取得をする。また、中学校卒業時は準2級以上を取得する。

4. 副教材・参考文献

- ・ 徹底反復シリーズ 5-Stage 英文文法 BOOK1(数研出版)、ENGLISH DISCOVER I (教育開発出版)、中学版システム英単語(駿台文庫)

5. 評価の視点・テスト・課題等

	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	3学期末
定期考査	100点	100点	100点	100点	100点

平常点	40点	40点	20点
-----	-----	-----	-----

- ・ 小テスト、プレゼンテーション、課題、提出物、等から平常点を算出。
- ・ 定期考査、平常点等を基に5段階評定を、学年末に算出。
- ・ 定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価。

6. 定期考査

- ・ 授業で学習した内容について、初見問題も含めて出題。（教科書・5-Stage・Discover・システム英単語・スタディサプリ・英検対策）リスニング問題（英会話で学習した内容）も含む。
- ・ 出題範囲は試験1週間前に発表予定。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 0 ・Unit 1 be 動詞/一般動詞 ・Unit 2 三人称/疑問詞/名詞 ・5-Stage Unit00,01,02,03,04,05 ・DISCOVER 第 1～3 章 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がふだんよくすることや, できることを伝えることができる。 ・身近な人やものについて紹介したり, たずねたりすることができる。 ・いつ, どこなのかをたずねたり, 数をたずねたりすることができる。 ・相手に指示したり, 時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 ・行った場所や, そこで楽しんだことなどについて話すことができる。
	5	<p style="text-align: right;">(中間考査) (実力テスト) (英検 1 次)</p>		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 3 副詞/不定詞 ・Unit 4 命令文 ・Unit 5 前置詞/動名詞/過去形 ・5-Stage Unit06,08,09,13,15 ・DISCOVER 第 6～13 章 <p style="text-align: right;">(実力テスト) (英検 2 次) (期末考査)</p>		
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 6 三人称単数現在形 ・Unit 7 代名詞 ・5-Stage Unit01,10,12,20 ・DISCOVER 第 14～18 章 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手以外の人やものなどについて, たずねたり伝えたりすることができる。 ・自分と相手以外の人について話したり, どちらなのか, だれのものなのかをたずねたりすることができる。 ・今していることについて説明したり, たずねたりすることができる。 ・したいことや, する必要のあることなどについて説明したり, 訪ねたりすることができる。
	10	<p style="text-align: right;">(英検 1 次) (中間考査) (実力テスト)</p>		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 8 現在進行形 ・Unit 9 S V C ・5-Stage Unit07,14 ・DISCOVER 第 19～25 章 読解問題 1 <p style="text-align: right;">(英検 2 次) (期末考査)</p>		
	12			

3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 10 過去形 ・Unit 11 過去進行形 ・5-Stage Unit11,16,17,18,19 総合問題 1～4 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の出来事について説明し たり, たずねたりすることができ る。 ・過去の状態や気持ち, 過去の ある時点にしていることについて 説明することができる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・DISCOVER 読解問題 2～6 		
	3	(英検 1次・2次) (実力テスト) (期末考査)		

※表記：NEW HORIZON English Course 1→Unit～, 5-Stage→5-Stage, English DISCOVER→DISCOVER

※シラバスの内容は理解度やその他の都合により省略や追加, また前後することもあります。

科目名	教科書名	副教材名
中学1年 英語 (GL)	NEW HORIZON English Course 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ENGLISH DISCOVER I ・中学版システム英単語 ・徹底反復シリーズ 5-Stage 英文法完成 BOOK1

1. 授業のねらい

- ・ 英語を通じて, 思考力, 判断力, 表現力を高める。
- ・ 聞く, 話す(発表), 話す(やり取り), 読む, 書く, の 4 技能 5 領域で英語力を向上させる音声, 語彙(単語や熟語など), 表現, 文法などを理解し, 興味から生まれる課題を探究し, 運用する力を身につける。
- ・ 英語を通じてコミュニケーションを取り, 自分の伝えたいことを表現し, 相手の意図をくみ取ることができるようにする。
- ・ 背景にある文化に対する理解を深め, 多様な価値観を知ることにより, 多角的なものの見方を養う。

2. 授業のすすめ方

< 英語 >

- ・ 5 単位のうちの 1 単位にてオンライン英会話 (weblia 英会話) を実施し, 英語コミュニケーションの実践により, 達成度を測り, 課題点を見つけて, 日々の学習にフィードバックする。
- ・ 5 単位のうちの 4 単位は, GL コース 2 クラスをレベル別の 4 グループ < Specialized (S class), Advanced (A class), Intermediate (I class) × 2 > に分け, それぞれのレベルに応じて効率よく英語力を向上させていく。(グループ分けは定期考査の結果を中心に行う)
- ・ 基本的に英語で授業を進行するので, よく聞き, 内容理解に努める。
- ・ 教科書および副教材等を通じて, 聞く, 話す(発表), 話す(やり取り), 読む, 書く, の 4 技能 5 領域の技能を向上させるトレーニングを行う。
- ・ 課題点に対して, ペアワーク, グループワーク, ディスカッション, プレゼンテーション, などを行い, 思考力, 判断力, 表現力を向上させる。
- ・ 教材に出てくる新しい語彙, 表現, 文法を使い, コミュニケーション力を高める。

- ・ 教科書の内容を通じて、異文化理解を深める。
- ・ 5-Stage・ENGLISH DISCOVER で英語運用力の定着を図り、応用力を養う。
- ・ 授業や家庭学習でシステム英単語を用い、語彙力を向上させる。(小テスト実施)。
- ・ 授業内外でスタディサプリおよびスタディサプリ English を用い、理解を深め、常に英語力の向上に努める。
 <英会話>
- ・ 通常のクラスを3グループに分け、ネイティブスピーカーと日本人の教員のチームティーチング形式で行う。
- ・ 発話の機会を増やし、英語力とコミュニケーション能力を伸ばす。
- ・ プレゼンテーションの機会を通じて、発表力、表現力を伸ばす。

3. 学習上の留意点

- ・ 授業へ参加する前に単語を調べるなど、予習に取り組む。
- ・ お互いを尊重し、積極的にコミュニケーションを取る。
- ・ プリント類、テスト類は各自ファイルに保管する。
- ・ 課題には真剣に取り組む、期限までに提出をする。
- ・ 定期考査、小テスト、実力テスト、英検には十分な準備をして臨む。
- ・ 英検を受験し、全員が4級以上の取得をする。また、中学校卒業時は準2級以上を取得する。

4. 副教材・参考文献

- ・ 徹底反復シリーズ 5-Stage 英文法完成 BOOK1 (数研出版), ENGLISH DISCOVER I (教育開発出版), 中学版システム英単語 改訂版(駿台文庫), EFFECTIVE Academic Writing Intro (OXFORD) ※S class のみ

5. 評価の視点・テスト・課題等

	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	3学期末
定期テスト	100点	100点	100点	100点	100点
平常点	40点		40点		20点

- ・ 小テスト、プレゼンテーション、課題、提出物、等から平常点を算出。
- ・ 定期考査、平常点等を基に5段階評定を、学年末に算出。
- ・ 定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価。

6. 定期考査

- ・ 授業で学習した内容について、初見問題も含めて出題。(教科書・5-Stage・Discover・システム英単語・スタディサプリ・英検対策) リスニング問題 (英会話で学習した内容) も含む。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 0 ・Unit 1 be 動詞/一般動詞 ・Unit 2 三人称/疑問詞/名詞 ・5-Stage Unit00,01,02,03,04,05 ・DISCOVER 第 1～3 章 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がふだんよくすることや, できることを伝えることができる。 ・身近な人やものについて紹介したり, たずねたりすることができる。 ・いつ, どこなのかをたずねたり, 数をたずねたりすることができる。 ・相手に指示したり, 時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 ・行った場所や, そこで楽しんだことなどについて話すことができる。
	5	<p style="text-align: right;">(中間考査) (実力テスト) (英検 1 次)</p>		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 3 副詞/不定詞 ・Unit 4 命令文 ・Unit 5 前置詞/動名詞/過去形 ・5-Stage Unit06,08,09,13,15 ・DISCOVER 第 6～13 章 <p style="text-align: right;">(実力テスト) (英検 2 次) (期末考査)</p>		
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 6 三人称単数現在形 ・Unit 7 代名詞 ・5-Stage Unit01,10,12,20 ・DISCOVER 第 14～18 章 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手以外の人やものなどについて, たずねたり伝えたりすることができる。 ・自分と相手以外の人について話したり, どちらなのか, だれのものなのかをたずねたりすることができる。 ・今していることについて説明したり, たずねたりすることができる。 ・したいことや, する必要のあることなどについて説明したり, 訪ねたりすることができる。
	10	<p style="text-align: right;">(英検 1 次) (中間考査) (実力テスト)</p>		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 8 現在進行形 ・Unit 9 S V C ・5-Stage Unit07,14 ・DISCOVER 第 19～25 章 読解問題 1 <p style="text-align: right;">(英検 2 次) (期末考査)</p>		
	12			

3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 10 過去形 ・Unit 11 過去進行形 ・5-Stage Unit11,16,17,18,19 総合問題 1～4 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・プレゼンテーション, 発表, 表現 ・主体的に学習に取り 組む態度 ・課題, 提出物 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の出来事について説明し たり, たずねたりすることができ る。 ・過去の状態や気持ち, 過去の ある時点にしていることについて 説明することができる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・DISCOVER 読解問題 2～6 		
	3	<p>(英検 1次・2次) (実力テスト) (期末考査)</p>		

※表記：NEW HORIZON English Course 1→Unit～, 5-Stage→5-Stage, English DISCOVER→DISCOVER

※シラバスの内容は理解度やその他の都合により省略や追加, また前後することもあります。